

平成 30 年 4 月 2 日

計算プログラム 修正点 ( Ver.2.3.1 → Ver.2.4.0 )

下記の修正を行いました。

【住宅版／気候風土適応住宅版／建築物省エネ法 住宅事業建築主の判断基準】

<全般>

1. 計算結果 (PDF) において、設備項目名「太陽給湯」を「液体集熱式太陽熱利用給湯」に変更しました。
2. 計算結果 (PDF) において、注釈の内容およびレイアウトを変更しました。
3. 連続的な API アクセスに対して制限を加え、サーバ負荷が大きくなり過ぎないように改善しました。

<外皮>

4. 以下の項目について、最小値を次のように変更しました。
  - 外皮面積の合計 : 1.00
  - 外皮平均熱貫流率( $U_A$ ) : 0.01
  - 暖房期平均日射熱取得率( $\eta_{AH}$ ) : 0.1
  - 冷房期平均日射熱取得率( $\eta_{AC}$ ) : 0.1
  - 外気が経由する床下の面積の割合 : 1

<暖房>

5. その他の居室がない場合において、主たる居室の設備として選択した暖房設備機器または放熱器の種類によらず、「居室のみを暖房する」として計算される誤りを修正しました。
6. 以下の項目について、最小値を次のように変更しました。

- FF 暖房機一定格能力におけるエネルギー消費効率：0.1

#### <熱交換>

7. 以下の項目について、最小値を次のように変更しました。

- 給気と排気の比率による温度交換効率の補正係数：0.01
- 排気過多時における住宅外皮経由の漏気による温度交換効率の補正係数：0.01

#### <給湯>

8. 以下の項目について、最小値を次のように変更しました。

- 貯湯タンクの容量：1
- 給湯専用型－ガス従来型給湯機／ガス潜熱回収型給湯機－エネルギー消費効率：0.1
- 給湯専用型－ガス従来型給湯機／ガス潜熱回収型給湯機／石油従来型給湯機／石油潜熱回収型給湯機－モード熱効率：0.1
- 給湯専用型－電気ヒートポンプ給湯機(CO2 冷媒)(太陽熱利用給湯設備を使用しないもの)－JIS 効率：0.1
- 給湯専用型－電気ヒートポンプ給湯機(CO2 冷媒)(太陽熱利用給湯設備を使用しないもの)－M1 スタンダードに基づく JIS 相当効率：0.01
- 給湯・温水暖房一体型－ガス従来型給湯機／ガス潜熱回収型給湯機／石油従来型給湯機－暖房部 熱効率：0.1
- 給湯・温水暖房一体型－ガス従来型給湯機／ガス潜熱回収型給湯機－給湯部 エネルギー消費効率：0.1
- 給湯・温水暖房一体型－ガス従来型給湯機／ガス潜熱回収型給湯機／石油従来型給湯機／石油潜熱回収型給湯機－給湯部 モード熱効率：0.1

#### <太陽熱>

9. 以下の項目について、最小値を次のように変更しました。

- ソーラーシステムを採用する（太陽熱給湯 2）－貯湯タンクの容量：1

<太陽光>

10. パワーコンディショナの定格負荷効率の入力において、「入力しない」を選択した場合に適用される数値を 92.7 に変更しました。
11. 以下の項目について、最小値を次のように変更しました。
  - 太陽電池アレイのシステム容量：0.01

<空気集熱>

12. 空気集熱式太陽熱利用設備の計算を新たに追加しました。

<XML>

13. 空気集熱式太陽熱利用設備に関する情報の出力を追加しました。

**【建築物省エネ法 住宅事業建築主の判断基準】**

<全般>

14. エネルギー消費性能計算プログラム（建築物省エネ法 住宅事業建築主の判断基準）の計算結果（PDF）において、建築物省エネ法 住宅事業建築主の判断基準に定義のない項目を非表示にしました。

以 上